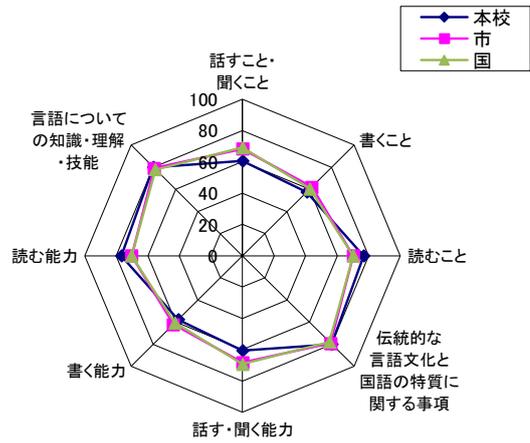


# 宇都宮市立平石北小学校第6学年【国語】分類・区別正答率

## ★本年度の国、市と本校の状況

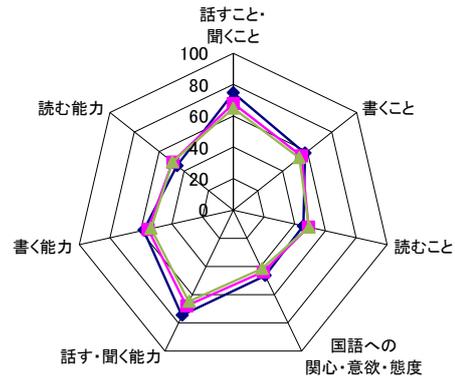
### 【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	60.6	68.2	69.2
	書くこと	57.6	62.0	60.6
	読むこと	76.8	70.2	70.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	79.9	79.1	78.0
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	60.6	68.2	69.2
	書く能力	57.6	62.0	60.6
	読む能力	76.8	70.2	70.2
	言語についての知識・理解・技能	79.9	79.1	78.0



### 【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	74.7	68.0	64.9
	書くこと	58.2	55.3	53.4
	読むこと	45.5	49.0	49.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項			
観点	国語への関心・意欲・態度	46.5	43.9	41.7
	話す・聞く能力	74.7	68.0	64.9
	書く能力	58.2	55.3	53.4
	読む能力	45.5	49.0	49.2
	言語についての知識・理解・技能			



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○国語B(活用)では、市は約7ポイント、全国は約10ポイント平均正答率を上回っている。 ○目的や意図に応じて、適切な言葉遣いで話すことに関する問題については、全国の平均正答率を約4ポイント上回っている。 ●国語A(知識)では、市は約8ポイント、全国は約9ポイント平均正答率を下回っている。	・テーマを設定した1分間スピーチの時間を活用し、人前で自分の考えを話すことに慣れ、自信をもって話せるようにする。 ・相手の考えを聞くときには、共通点や相違点に注目し、自分の考えと比較しながら聞けるようにする。
書くこと	○国語B(活用)では、市は約3ポイント、全国は約5ポイント平均正答率を上回っている。 ○目的や意図に応じて、内容の中心を明確にして書くことや引用して書くことに関する問題については、全国の平均正答率を上回っている。 ●国語A(知識)では、市は約4ポイント、全国は約3ポイント平均正答率を下回っている。	・目的や意図に応じて、必要な内容を整理して書けるよう、構成メモづくりの時間を大切にして指導していく。 ・総合的な学習の時間や社会、理科など、他教科においても調べたことや分かったことを整理してまとめて書く活動を積極的に取り入れていく。
読むこと	○国語A(知識)では、市と全国の平均正答率を約6ポイント上回っている。 ○目的に応じて、文章の中から必要な情報を見つけて読むことに関する問題については、全国の平均正答率を上回っている。 ●国語B(活用)では、市と全国の平均正答率を約4ポイント下回っている。	・説明文では、段落ごとに小見出しをつけながら内容を整理し、筆者の意図を正確に読み取れるようにする。 ・物語文では、登場人物の心情や情景の変化をポイントとして提示し、物語全体の意図を読み取れるようにする。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○国語A(知識)では、市と全国の平均正答率をやや上回っている。 ○漢字の読みの問題の正答率は、全体的に高い。 ●漢字の書きの問題の正答率は、読みと比較しても全体的に低く、無解答率が約15%の問題も見られた。	・漢字ドリルを活用し、漢字の読みや書きの練習を繰り返すとともに、宮っ子ステップアップシートの活用を図ることで、習熟を図る。 ・朝の時間や家庭学習等で、読書や音読の時間を取り入れられたり、国語の時間に、辞書を活用した言葉調べの時間を設定したりすることで、語彙力を高められるようにする。